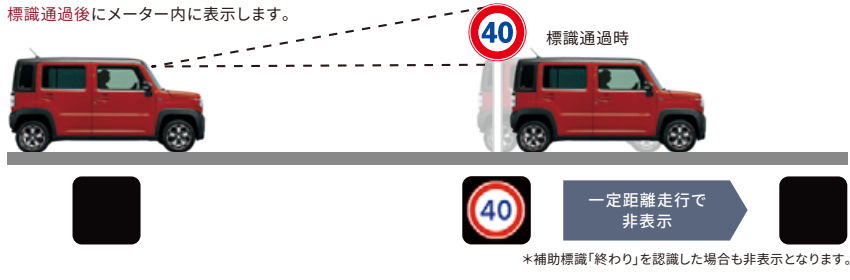


標識認識機能（進入禁止／はみだし通行禁止／最高速度／一時停止）※1※2※3<標準装備>

走行中に、ステレオカメラが認識した“最高速度”、“はみ出し通行禁止”の標識を標識通過後にメーター内に表示し、ドライバーにお知らせします。

■最高速度／はみ出し通行禁止作動イメージ図

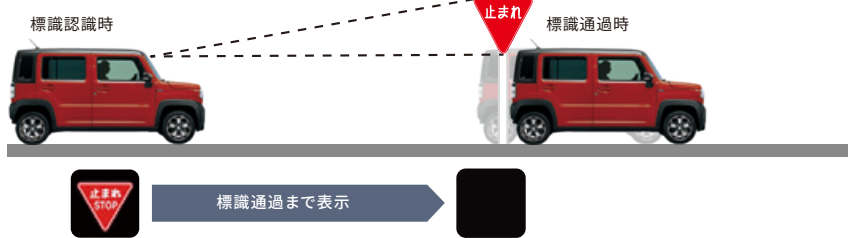
標識通過後にメーター内に表示します。



走行中に、ステレオカメラが認識した“一時停止”、“車両進入禁止”の標識を標識通過前にメーター内に表示し、ドライバーにお知らせします。

■一時停止／車両進入禁止作動イメージ図

標識通過前にメーター内に表示します。



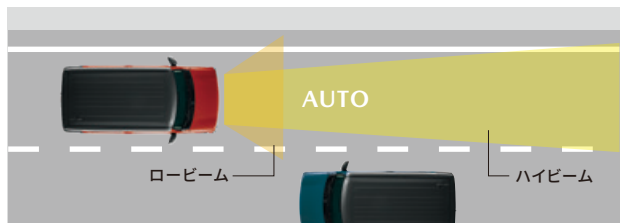
■認識する標識

- 最高速度
- はみ出し通行禁止
- 補助標識「終わり」
- 一時停止
- 車両進入禁止

ハイビームアシスト機能※1※2※4

ヘッドランプをハイビームにして走行中、前方に対向車や先行車がいったり、明るい場所を走行すると自動でロービームに。対向車や先行車がいなくなったり、周囲が暗くなると自動でハイビームに戻ります。<標準装備>

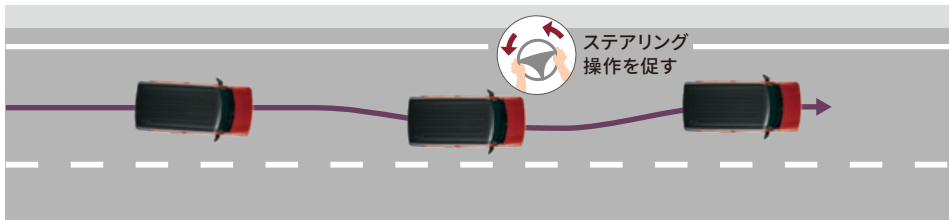
■ハイビームアシスト機能作動イメージ図



車線逸脱抑制機能 運転支援機能 ※1※2※5

機能をONの状態で行走中、カメラが左右の区画線を検知。車線逸脱の可能性が高いとシステムが判断した場合に、ドライバーに車線逸脱防止方向へのステアリング操作を促し、車両を車線の内側に戻すように支援をします。<標準装備>

■車線逸脱抑制機能作動イメージ図



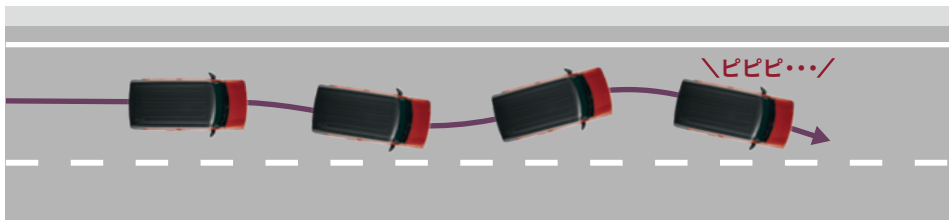
*車線逸脱抑制機能はドライバーがステアリング操作をしている間のみ作動します。*ドライバーの緊急操舵時は、ドライバーの操舵を妨げません。
*ウインカーが出ている間は、車線変更の意図があると判断し、車線逸脱抑制機能を一旦停止します。

ふらつき警報機能※1※2※7

走行中に左右の区画線を検知して、自車の走行パターンを計測。車両が蛇行するなど、システムが「ふらつき」と判断した場合、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。

<標準装備>

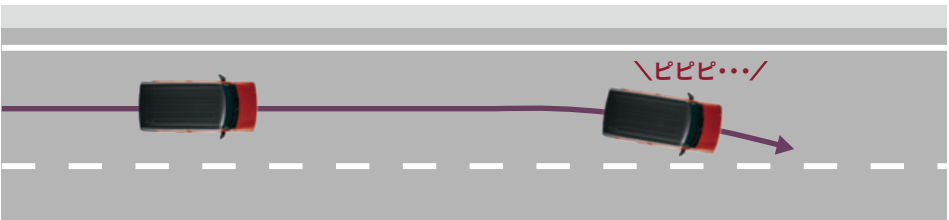
■ふらつき警報機能作動イメージ図



車線逸脱警報機能※1※2※6

走行中に左右の区画線を検知して進路を予測。前方不注意などで車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。<標準装備>

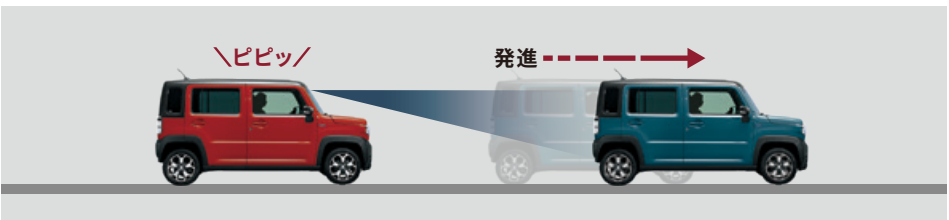
■車線逸脱警報機能作動イメージ図



先行車発進お知らせ機能※1※2※8

停車中、前のクルマが発進して約4m以上離れても停車し続けた場合、ブザー音やメーター内の表示によって、ドライバーに先行車の発進をお知らせします。<標準装備>

■先行車発進お知らせ機能作動イメージ図



※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。※2 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。〈作動条件〉※3 走行中にステレオカメラが最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止、補助標識「終わり」の標識を認識した場合。※4 約30km/h以上で走行中、スイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、ヘッドランプが点灯した状態でレバーを車の前方向に押し、ハイビームにしているとき。
●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

※5 機能をONの状態で行走中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線を逸脱すると判断した場合。※6 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。※7 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。※8 シフトがD・N・M・L (Sモード含む) の位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進して4m以上離れた場合。
●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

見えない部分の安全確認もしっかりサポート。＜対象グレードはTechnical Informationをご確認ください＞

全方位モニター用カメラ(フロント/サイド左右/バック) ※1※2※3※4※5※6

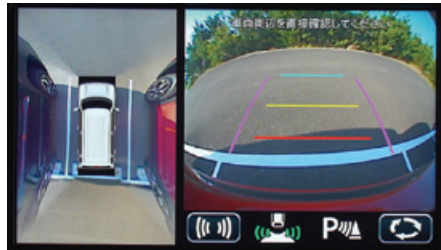
「全方位モニター用カメラ装着車」には、クルマの前後左右に4つのカメラを設置。全方位モニター対応ナビゲーション(ショッピング)を装着すれば、クルマを真上から見たような映像などを映し出す「全方位モニター」に。見通しの悪い場所で人などが近づいてくるとお知らせする「左右確認サポート機能」も前後に装備。

※前方/後方映像はシフトをRに入れた後方映像に。P、R以外のシフト位置では前方映像となります。※全方位モニター用カメラパッケージ装着車は、全方位モニター対応ナビゲーションの装着を前提とした仕様です。※全方位モニター対応ナビゲーションの詳細はアクセサリカタログをご覧ください。※手光式ナンバープレートを装着した場合、全方位モニターの映像が一部遮られることがあります。

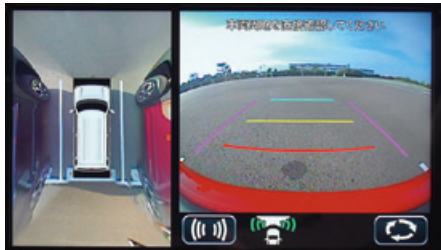
■フロントビュー自動表示機能(切り返し時)

シフトレバーをバックからドライブに切り替えた際、フロントビューに自動で切り替わります。手動で切り替える必要がなく、スムーズな駐車をサポートします。

■シフトRイメージ図



■シフトDイメージ図



※10km/hを超えるとカメラ映像はOFFになります。

■すれ違い支援機能

狭い道を低速で走行中、自動でモニターに「サイド(左側)+フロント映像」を表示。狭い道でのすれ違いで死角を減らし、壁や対向車との接触防止をサポートします。

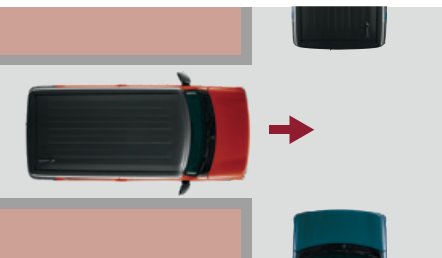
■サイド(左側)+フロント映像イメージ図



■左右確認サポート機能

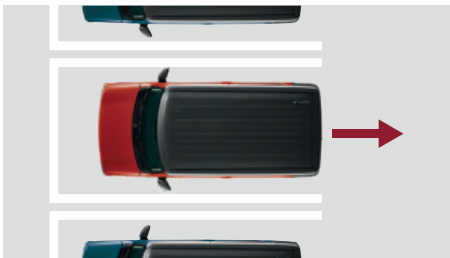
見通しの悪い路地から出るときや駐車スペースからバックで出るときなど、運転席から見えにくい周辺状況の左右確認をサポートします。

■前方左右確認サポート機能作動イメージ図



見通しの悪い細い路地から道路に出るとき

■後方左右確認サポート機能作動イメージ図



駐車スペースからバックで出るとき

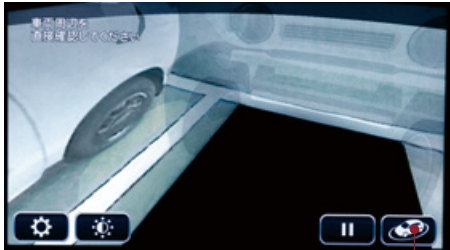
■3Dビュー

クルマの周囲360°を立体的に表示。クルマを斜め上から見たような「室外視点」と、運転席から車体を透かして見たような「室内視点」を切り替えて表示します。

■離れた視点から全体を見渡せる「室外視点」イメージ図



■車体を透かした形で見える「室内視点」イメージ図



表示切り替えスイッチ



※1 全方位モニターはドライバーの駐車を補助するものであり、あらゆる状況で自車の周辺環境を映し出すものではありません。またカメラの位置より上にある物体は映像で見ることができません。そのほかバンパーによる死角や、トップ映像にはカメラ映像間のズレによる死角があります。※2 システムの能力には限りがありますので、ドライバーは天候や路面状況にあわせた運転、周辺の車両・歩行者の確認、的確な運転操作など安全運転に努めてください。車両の操作をするときはこの機能に頼らず、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。※3 左右確認サポート機能は、すべての移動物を検知できるわけではありません。また、静止しているものは検知できません。※4 すれ違い支援機能は、すべての対向車を検知できるわけではありません。＜作動条件＞※5 すれ違い支援機能: 狭い道を低速(約5km/h以下)で走行中、ステレオカメラが対向車とのすれ違いを検知したとき。※6 左右確認サポート機能: 自車が発進前/後退前に停止しているとき、または微低速で前進/後退しているとき。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

幅広く用意した安全技術がドライブの安心を支えます。＜標準装備＞

歩行者傷害軽減ボディ

万一の衝突時でも、歩行者の頭部脚部へのダメージを軽減します。

- ① 衝撃吸収フロントバンパー構造
- ② 衝撃吸収フードパネル構造
- ③ 衝撃吸収フェンダー構造
- ④ 衝撃吸収フードヒンジ構造
- ⑤ 衝撃吸収ワイパー構造
- ⑥ 衝撃吸収カウルトップ構造
- ⑦ 衝撃吸収ルーフ構造



SRS※7エアバッグシステム 運転席&助手席、カーテン&フロントサイド

■エアバッグ膨張時イメージ図



※7 SRS: Supplemental Restraint System(補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感じた場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

ヒルホールドコントロール

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える瞬間、一時的にブレーキが作動(最長約2秒間)。落ち着いて発進ができます。

エマージェンシーストップシグナル

約55km/h以上で走行中に急ブレーキを検知すると、ハザードランプが自動で高速点滅。後続車に急ブレーキを知らせ、注意を促します。

運転席/助手席シートベルトウォーニング※8

シートベルトを装着せずに発進すると、警告音で装着を促します。

※8 助手席に荷物などを載せると、荷物の重さや形状によってはシートベルトウォーニングが作動して、警告音とメーター内の警告ランプが点灯する場合があります。

4輪アンチロック・ブレーキ・システム(4W-ABS)&電子制御制動力配分システム(EBD)、ブレーキアシスト

滑りやすい路面での急ブレーキ時には、4W-ABSが作動。タイヤのロックを防ぎ、車体を安定させて、ハンドル操作で障害物を回避できるようにサポートします。さらに、ブレーキ踏力を補助するブレーキアシストや最適な制動力を前後に自動配分する電子制御制動力配分システム(EBD)を装備。さらなる安全性に貢献しています。

※4W-ABS&EBDはあくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。4W-ABS&EBD非装着車と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要です。安全運転を心がけてください。

ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム[横滑り防止機構](DSC)&トラクション・コントロール・システム(TCS)

さまざまなセンサーによって走りを監視し、必要に応じてエンジンとブレーキをコンピューター制御。カーブなどでのタイヤのスリップや横滑り、急ブレーキ時のタイヤロックなどを抑え、車両の安定走行に貢献します。

※エンジントルク低減の度合いやブレーキをかける車輪とその強さは走行状況により変化します。DSC&TCSはあくまでも安定走行を補助する装置です。タイヤと路面間のグリップの限界を超えてスリップや横滑りを起こした場合はDSC&TCSが作動したとしても、その効果は期待できません。

オートライトシステム

走行中、周囲の明るさや暗さに応じて、ヘッドランプなどを自動で点灯/消灯します。

ライト自動消灯システム

ライトスイッチがAUTOの位置でなくても、エンジンを切った運転席のドアを開けると自動でヘッドランプなどを消灯し、バッテリー上がりを予防します。

その他の安全装備

軽量衝撃吸収ボディ

頭部衝撃軽減構造インテリア

頭部衝撃緩和フロントシート

シートベルト フロントシート プリテンショナー&可変ロードリミッター機構付ELR3点式×2、リアシート ELR3点式×2

リアシート i-Size/ISOFIX※9対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ

※9 国際標準化機構(ISO)が定めたチャイルドシート固定装置に関する規格。
※i-Size/ISOFIX対応チャイルドシートの本車両への適合性について、詳しくは車両付属の取扱書をお読みいただくか、営業スタッフにおたずねください。
※チャイルドシートを取り付ける際は、車両およびチャイルドシート付属の取扱書をお読みください。

イモビライザー(国土交通省認可品)

セキュリティアラームシステム

※システム作動はリクエストスイッチ、アドバンスドキーレスエントリーでの施錠によって開始します。
※車両には盗難警報装着車ステッカーが貼付されています。
※セキュリティアラームシステムは、作動しない状態に設定することができます。
詳しくは営業スタッフにおたずねください。